



シラバス参照

<<最終更新日：2026年02月27日>>

基本情報

時間割コード	237850
開講区分(開講学期)	春～夏学期
曜日・時間	金4
開講科目名	経営学特研Ⅱ（研究・調査インターンシップ）
開講科目名(英)	Special Studies in Business and ManagementⅡ (Research Internship)
定員	0
教室	法経研究棟509
ナンバリング	23BUMA7E403
授業形態	講義科目
単位数	2.0
年次	1,2,3年
担当教員	松井 博史
メディア授業科目	非該当

※メディア授業科目について
授業回数の半数以上を、多様なメディアを高度に利用して教室等以外の場所で行う授業を「メディア授業科目」としています。
学部学生が「メディア授業科目」を卒業要件に算入できるのは60単位が上限です。
なお、非該当の場合であっても、メディアを利用した授業を実施する場合があります。

基本項目

講義室	
-----	--

詳細情報

授業サブタイトル									
開講言語	日本語								
学習方法	聴講・視聴: 講義・教材・実演を視聴して学ぶ（例：講義の対面受講、オンデマンド教材視聴） 討論: 学生同士や教員との間で質疑応答や意見交換を行うことで学ぶ（例：ペア・グループディスカッション、オンラインでのチャット、論文個別指導） 協同: ペアやグループで行う協同作業を通して学ぶ（例：グループによるポスター制作） 体験・実践: 体験・実践等の行動ならびにそれに対するフィードバックにより学ぶ（例：問題演習、機器等を使う実験、学内外実習、スポーツ等の実技、課題解決型学習、インターンシップ） 発表: 執筆、プレゼンテーション、作品制作等により学ぶ（例：レポート作成、プレゼンテーション、ポスター発表、作品制作、ポートフォリオ）								
授業の目的と概要	【目的】 インターンシップの参加を通じて、ビジネスを体験し、経済や経営に関する知見を獲得すること 【概要】 この講義は、講義（4～7月）と企業実習（8月、9月）と全体報告会（9月）の3つのパートで構成されている。4～7月は大学内で企業経営や経済に関する講義を行い、夏季休暇中の8月にインターンシップに参加し、9月に成果発表会を行う。 担当教員は、学生のために数名程度の派遣先枠を用意しているが、講義の受講生が多い場合には、派遣者を選別する（面接を実施し、受け入れ学生を選別する）。選別されなかった受講生は、自分で公募インターンに応募して、インターンシップ先を開拓する必要がある。 ※派遣できる合計人数は変更になる可能性がある。								
学習目標	<table><tr><td>1</td><td>日本経済・企業の特徴などを踏まえて、特定業界や企業の特徴を分析することができる。</td></tr><tr><td>2</td><td>ロジカルシンキング・ドキュメンテーション・プレゼンテーションの基礎を習得し、インターン生としてインターン先企業に貢献することができる。</td></tr><tr><td>3</td><td>興味のある業界での実務経験を得ることで進路選択等の参考にすることができる。</td></tr><tr><td>4</td><td>実際にインターンとして業務等に関与することで、ある程度の実務経験を得ることができる。</td></tr></table>	1	日本経済・企業の特徴などを踏まえて、特定業界や企業の特徴を分析することができる。	2	ロジカルシンキング・ドキュメンテーション・プレゼンテーションの基礎を習得し、インターン生としてインターン先企業に貢献することができる。	3	興味のある業界での実務経験を得ることで進路選択等の参考にすることができる。	4	実際にインターンとして業務等に関与することで、ある程度の実務経験を得ることができる。
1	日本経済・企業の特徴などを踏まえて、特定業界や企業の特徴を分析することができる。								
2	ロジカルシンキング・ドキュメンテーション・プレゼンテーションの基礎を習得し、インターン生としてインターン先企業に貢献することができる。								
3	興味のある業界での実務経験を得ることで進路選択等の参考にすることができる。								
4	実際にインターンとして業務等に関与することで、ある程度の実務経験を得ることができる。								

履修条件・受講条件	①夏季休暇期間中（8月下旬～9月中旬）に2週間のインターンシップ参加が必要。 ②第一回目の講義はできるだけ出席すること。この時点で、講義の概要を説明する。また、講義の2/3以上の出席がない場合は単位を認めない。 ③インターンシップ参加に当たっては保険加入が必要（費用は3~4千円程度）。 ④インターンシップ参加後に、報告書作成と発表会での報告を義務付ける。 ※インターンシップに関わる諸経費は、原則として自己負担とする。	
出欠席及び受講に関するルール		
授業計画	第1回	題目:第1回 導入
		講義概要の説明
		授業時間外学習：講義内容の復習 参考資料の理解 インターンへの応募
	第2回	題目:第2回 概論：日本の職場・企業
		日本社会・企業の性質や採用プロセスについて理解し、インターンや就職についてのイメージを固める
		授業時間外学習：適性検査等の実施 参考資料の理解 インターンへの応募
	第3回	題目:第3回 概論：日本の職場・企業
		日本社会・企業の性質や採用プロセスについて理解し、インターンや就職についてのイメージを固める
		授業時間外学習：適性検査等の実施 参考資料の理解 インターンへの応募
	第4回	題目:第4回 概論：企業研究と自己分析
		企業研究の方法を学び、求められる人材像や自己の強みについて考察する
		授業時間外学習：企業研究等の課題の実施 インターンへの応募
	第5回	題目:第5回 概論：企業研究と自己分析
		企業研究の方法を学び、求められる人材像や自己の強みについて考察する
		授業時間外学習：企業研究等の課題の実施 インターンへの応募
	第6回	題目:第6回 ビジネススキル：ロジカルシンキング
		ロジカルシンキングの基礎を学び、考え方を考える方法を知る
		授業時間外学習：講義内容の復習 参考資料の理解
	第7回	題目:第7回 ビジネススキル：ロジカルシンキング
		ロジカルシンキングの基礎を学び、考え方を考える方法を知る
		授業時間外学習：講義内容の復習 参考資料の理解
	第8回	題目:第8回 ビジネススキル：ドキュメンテーション
		考えた内容を正確に文書などでまとめるためのドキュメンテーションの基礎を知る
		授業時間外学習：講義内容の復習 参考資料の理解
	第9回	題目:第9回 ビジネススキル：ドキュメンテーション
		考えた内容を正確に文書などでまとめるためのドキュメンテーションの基礎を知る

		授業時間外学習：講義内容の復習 参考資料の理解				
	第10回	題目:第 1 0 回 ビジネススキル：プレゼンテーション				
		考えられた内容を価値あるメッセージとして状況に応じて魅力的に説明する基礎を知る				
		授業時間外学習：講義内容の復習 参考資料の理解				
	第11回	題目:第 1 1 回 ビジネススキル：プレゼンテーション				
		考えられた内容を価値あるメッセージとして状況に応じて魅力的に説明する基礎を知る				
		授業時間外学習：講義内容の復習 参考資料の理解				
	第12回	題目:第 1 2 回 インターンシップ実習の準備				
		インターンシップ等に向けた準備				
		授業時間外学習：インターンシップ報告書等の準備 講義内容の復習 参考資料の理解				
	第13回	題目:第 1 3 回 インターンシップ実習の準備				
		インターンシップ等に向けた準備				
		授業時間外学習：インターンシップ報告書等の準備 講義内容の復習 参考資料の理解				
第14回	題目:第 1 4 回 インターンシップ実習の準備					
	実習中の目標設定や実習後の振り返りなどに向けた準備					
	授業時間外学習：インターンシップ報告書等の準備 講義内容の復習 参考資料の理解					
第15回	題目:第 1 5 回 インターンシップ実習の準備					
	実習中の目標設定や実習後の振り返りなどに向けた準備					
	授業時間外学習：インターンシップ報告書等の準備 講義内容の復習 参考資料の理解					
教科書・指定教材		指定しない。				
参考図書・参考教材		講義中に適宜紹介する。				
成績評価 ※学習目標の番号にカーソルをあてると、その学習目標の全文が表示されます。		評価方法	発表			
		学習目標1	○			
		学習目標2	○			
		学習目標3	○			
		学習目標4	○			
		評価割合（%）	100%			
成績評価に関する補足情報		成績は「合格」、不合格で判定（点数はつけない）。インターンシップ参加、報告書の提出、プレゼンテーション、授業への参加態度を満たしているかで判定。				
成績評価基準		成績評価基準については大阪大学Webサイトを参照 https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/pdf/pjl2fk				
合理的配慮		・ 本授業を受けるにあたり、障がい（難病・慢性疾患等を含む）に起因して合理的配慮を要する場合は、 所属学部／研究科の障がい学生支援担当窓口（教務係／学務係／学生支援係等）や健康支援相談センターアクセシビリティ支援室に相談してください。 ・ 詳細はこちらを参照してください。 健康支援相談センターアクセシビリティ支援室				

	Website : https://acs.hacc.osaka-u.ac.jp 相談申込み : https://acs.hacc.osaka-u.ac.jp/soudan/
特記事項	講義中のワークやプレゼンテーションの実施のため、PCもしくは同等の作業ができる環境を持参すること。
実務経験のある教員による授業科目	コンサルティングファーム等での勤務経験を踏まえて、実務的な内容を中心に講義を行う。また、教員は採用担当の経験もあり、面接などについての実践的な内容を学ぶことができる科目である。

授業担当教員

教員氏名	所属・職名・講座名	e-mail
松井博史	経済学研究科	matsui.hiroshi.econ@osaka-u.ac.jp

学生への注意書き